

平成 30 年度

静岡県議会産業・環境政策等海外事情調査団報告書

平成 30 年 7 月 22 日～7 月 28 日

静岡県議会

目 次

I	はじめに	1
II	団員名簿	3
III	調査日程・行程図	4
IV	調査概要	
1	ホルメゴースパーケン入居施設(デンマーク王国) 〈特別養護老人ホームの運営状況調査〉	6
2	ミドルグロン洋上風力発電所(デンマーク王国) 〈洋上風力発電所の運営状況調査〉	11
3	ロシア連邦スポーツ省(ロシア連邦) 〈国際スポーツイベントの開催及び選手強化策の調査〉	16
4	JETROモスクワ事務所(ロシア連邦) 〈ロシア経済の現状及び県産物の販路拡大策の調査〉	20
5	ヴォドカナル社 ユース環境センター(ロシア連邦) 〈若者への環境教育の調査〉	25
6	サンクトペテルブルク商工会議所(ロシア連邦) 〈商工会議所の運営状況の調査〉	30

I はじめに



三ッ谷 金秋

私ども一行は、静岡県議会海外事情調査団として、平成30年7月22日から28日までの7日間にわたり、デンマーク王国及びロシア連邦を訪問し、両国における高齢者福祉や産業振興、環境保全などの重要課題への対策について事情調査いたしました。

最初の視察調査先はデンマーク王国の首都コペンハーゲン近郊でした。

福祉政策では高齢者の入居施設を訪ね、民間と行政による入居者の人権に配慮した運営体制を伺い、続いて再生エネルギー政策である洋上風力発電所にてエネルギーの効率化や行政との協力関係について現場の意見を聴取いたしました。

視察調査3日目には、ロシア連邦の首都モスクワに到着しました。私の県議会議員としての初めての海外研修先がソビエト社会主義共和国連邦の崩壊後間もない当時のロシア連邦であり、当時の新聞やテレビでは深刻化した食料品不足などロシアの窮状が報道され、またソビエト連邦時代の政治家と現政権との確執もあって政治状況は連日緊張が増していました。クレムリンの城壁の周りには多数の戦車が配備され、その砲身がモスクワ市役所に向けられた物々しい状況の中での訪問でした。

一方、今回の訪問に当たっては、その激動の時代から20年余が過ぎソビエト連邦から現在のロシア連邦への変革の道程をどのように乗り越え、そして発展したのか興味深く注目していました。

モスクワでは、観光政策の現場を見学し、振興に努める政府の事業や観光客の動向について見聞を広げ、4日目にはロシア連邦スポーツ省に伺い、オリンピックなど世界レベルで活躍するスポーツ選手の強化策やサッカーワールドカップなどの大規模なスポーツイベントの開催ノウハウを調査し、JETROモスクワ事務所ではロシアの産業や経済の実情の説明を受けました。

視察調査の最終日には、ロシア第2の都市サンクトペテルブルク市で環境教育政策を初め経済対策を推し進める商工会議所を訪問いたしました。

これが視察調査の概要ですが、訪問先での調査内容の詳細につきましては担当議員から改めて報告を行います。

今回の視察調査において現地に立ち、見聞し、そして感じ、考えたことにつきましては今後の県政の発展に十分に生かしていきます。

また、これらの調査結果については全議員が共有できるよう報告会を開催するとともに、県議会のホームページに掲載し広く県民の皆様にごらんいただくこととしております。

結びに、訪問先の方々を初めお世話になりました関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成30年12月

静岡県議会産業・環境政策等海外事情調査団

団長 三ッ谷 金秋

II 団員名簿

	役 職	氏 名
1	団 長	三ッ谷金秋
2	団 員	岡本 護
3	団 員	野澤 義雄
4	団 員	田形 誠
5	団 員	中田 次城

—	随員	議会議務局政策調査課長補佐 横崎 浩一
—	随員	議会議務局議事課主査 熊崎 雄一

Ⅲ 調査日程・行程図

調査日程

月 日	国・都市	調査先	宿泊地
7月22日 (日)	デンマーク王国 コペンハーゲン	(移動日) 成田⇒デンマーク王国	コペンハーゲン
7月23日 (月)	デンマーク王国 コペンハーゲン	○ホルメゴースパーケン入居施設 ○ミドルグロン洋上風力発電所	同上
7月24日 (火)	ロシア連邦 モスクワ	(移動日) デンマーク王国⇒ロシア連邦	モスクワ
7月25日 (水)	ロシア連邦 モスクワ	○ロシア連邦スポーツ省 ○JETROモスクワ事務所 (移動) モスクワ⇒サンクトペテルブルク	サンクト ペテルブルク
7月26日 (木)	ロシア連邦 サンクト ペテルブルク	○ヴォドカナル社 ○サンクトペテルブルク商工会議所	同上
7月27日 (金)	—	(移動日) ロシア連邦⇒	(機内)
7月28日 (土)	—	(移動日) ⇒成田	—

行程図

